

研究主題と取組の全体構想

自己をみつめ,学ぶ喜びを実感する授業づくり –「分かる・できる」がつながり深まる学びを通して–				
目指す生徒の姿 【みつめる】自己をよりよく見つめ，見通しをもち，自ら学ぶ生徒 【かかわる】人や事物と関わって学ぶことのよさを実感し，協働で学びを深める生徒 【す す む】安定した前向きな感情をもち，よい行動を持続できる生徒				
最重要課題【かかわる】				
教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他の教育活動（取組の重点）
◎共通実践事項 □学習課題 □学び合い □振り返り	◎重点内容項目 □希望と勇気，克己と強い意志（全学年） □相互理解，寛容（１年） □思いやり，感謝（２年） □よりよい学校生活, 集団生活の充実（３年）	◎指導の取組の重点 □育成したい資質・能力を明確に意識した単元計画の作成・生徒への提示 □ルーブリック（評価基準）の生徒への提示による学びの方向性の明示 □実効性のあるプラン企画書の活用方法の例示	◎指導の取組の重点 □課題解決的な学習過程を重視した学級活動の実践と学級経営の充実 □多様な他者との交流や対話を通して，協働することや社会貢献，他者の役に立つことの喜びを得られる活動の充実	◎生徒指導 □生徒指導の機能を生かした自己指導能力の育成及び生徒の居場所づくり及び絆づくりの取組の推進 □ユニバーサルデザインの視点からの学級経営の推進 □他者との触れ合い，関わり合い，学び合いを通して，人と関わることの楽しさ，人の役に立つことへの喜びを見だし，他者を思いやる心情を育む取組の推進 ◎特別支援教育 □学びのユニバーサルデザインの視点に基づいた多様な個人差への対応と継続的な支援
目標と活動の関連付けの知的・体験的な理解（ガイダンスの機能の充実）・教員のキャリア・カウンセリング能力の重視（カウンセリング能力の向上）				

教科等横断的な取組への基本的な考え方

課題解決に向けた取組の方向性【自己有用感に裏付けられた自己効力感の育成】→問題解決的な学習過程